



2013年秋のフォーラム(旧月例会)は、1989年卒で講談社国際部部長の古賀義章氏の講演でした。古賀義章氏には、過去MMCでは、就職セミナー等でも講師をお願いして好評を得ていました正に出版業界の超?ウルトラエースのOBです。数多くの我明大のOBの中で、世界を開拓できる?逸材は、古賀義章氏しかいない?と言っても過言ではない程、講演内容は、ずば抜けた中身の濃い素晴らしい内容でした。

総勢 38 名出席

インドで蘇った巨人の星その陰にOBが!

講演では、学生時代に過ごしたことがあるインドの思い出の話から始まり、講談社で自ら事業化計画を起し、社内で紆余曲折しながら、実現に至るまでのプロセスは、約1時間という短時間では見、聞きいった内容になりました。

特に古賀義章氏ご自身のアニメ化奮闘記は、実現に至るまでの多くのプロセスが、少年時代から明治大学で培った人間関係から物事の情報収集能力と分析能力、そして講談社という出版社におけるマスメディアの役割をしっかりと知りえていたからこそ実現可能にできた人間力であったことを改めて感じた瞬間になった感動的なフォーラムでした。



講師:古賀 義章氏

そして今回のインドでの巨人の星の実現の秘話として一か八かの見切り発車の記者会見の結果、NHKニュースで20分程放映されたことが切っ掛けで各社でマスコミ報道され、一時頓挫したスポンサーや共同参画した企業が戻ってきて一気に実現した経過は、マスコミ人の古賀義章氏も流石に計算外?の人生の面白さでした。



懇親会では、OBが15名程参加して古賀義章氏を囲んで、講演では聞くことができない色々の隠れた内容をじっくり聞きこんだり、改めて古賀義章氏と名刺交換して、同じメディアでもコンテンツの売り込み方法の違いを感じ取ったりして時代の変化を感じ取っていたOBもいました。まだまだ出版業界は、奥深いことを知ったフォーラムでした。



次回は来春開催予定!